

一般質問(要旨)

●質問者

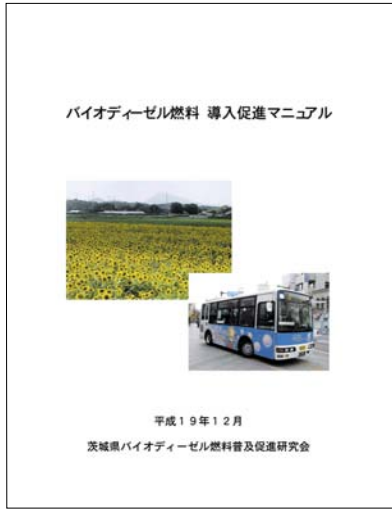
- 大内久美子 (日本共産党)
- 錦織 孝一 (自由民主党)
- 狩野 岳也 (自由民主党)
- 臼井平八郎 (自民県政クラブ)
- 佐々木忠男 (民主党)
- 館 静馬 (自由民主党)
- 高崎 進 (公明党)
- 福地源一郎 (自由民主党)
- 加倉井昭喜 (自由民主党)

バイオディーゼル燃料の普及は  
取組事例の周知や  
導入費用の一部助成

議員(自民) 廃食用油の回収システムを自治体やNPOと連携してつくるべき。システムづくりも含めてどのようにバイオディーゼル燃料の普及に取り組む方針か。

生活環境部長 システムづくりには、まず、バイオディーゼル燃料に関心を持ってもらうことが重要。そこで、県内外の取組事例や廃食用油の回収方法を取りまとめ、県ホームページに掲載するとともに、市町村等に説明会を行った。さらに、普及拡大に向け、市町村に対して製造装置の一部を助成していく。

議員 道路の整備なくして港湾の機能は発揮しない。須賀佐田線の整備状況や鹿島港に向けた延伸計画、国道五号鹿嶋バイパスの四車線化の見通しはどうか。



土木部長 須賀佐田線は、鹿野押合線から旧国道一二四号までの整備を進め、国道一二四号までの事業化を検討し、鹿島港方面の延伸に向け具体的な整備ルートを地元鹿嶋市と調整していく。鹿嶋バイパスの四車線化は、潮来バイパスの整備状況や旧神宮橋の老朽化の度合いなどを見ながら、今後関係機関と協議、検討していく。

(ほかに、少子化対策、小中学校教員の採用及び配置なども質問)

減少する消防団員の確保策は  
女性消防団員の入団等を  
促進

議員(自民) 消防団は大規模災害時の対応など地域防災に欠かすことのできない役割を担っているが、団員数の減少や団員の高齢化が進んでいる中で、消防団員の確保と消防団組織の多様化方策にどのように取り組んでいくのか。

生活環境部長 消防団協力事業所

表示制度や機能別消防団員制度の導入をはじめ、女性消防団員の入団促進などが消防団員の確保に大変有効であり、これらの制度の活用を市町村に働きかけていく。

議員 結城養護学校では在学者の増加から、仮設校舎の増設による対応や在学者の通学距離の長距離

偕楽園公園の整備は  
県民の意見を取り入れ進める

議員(自民) 水戸藩開藩四百年を機に、関係団体による懇談会を設置し、表門への誘導や有料化など偕楽園公園の整備・運営について提言をいただき、「平成偕楽園公園構想」を策定すべきでは。また、観光面でも積極的に支援すべきでは。

知事 表門への誘導は方法等と市と協議している。有料化は偕楽園創設の趣旨を尊重すれば慎重に対応せざるを得ない。世界に誇れる公園となるよう県民の意見を取り入れ整備を進めるとともに、市や観光団体等と連携したPR、イベント開催等で利用促進を図る。

議員 子ども達が、水戸学や偉人について学ぶことで、郷土茨城を誇りに思うことができると考える。水戸学を学校教育、特に道徳の授業で取り上げてはどうか。

教育長 小学生対象の道徳用郷土



偕楽園表門

資料集や、高校の「道徳」の授業などで愛郷心を養っている。今後とも徳川斉昭公をはじめとした偉人について学ぶ機会を増やすなどして、郷土茨城を誇りに思うような児童・生徒を育てていく。

(ほかに、放課後の居場所づくり、入札制度を活用した障害者の雇用促進なども質問)

北関東道の開通に伴う  
交流拡大への取り組みは  
開通イベント開催に向けて準備

議員(自民) 平成二十一年度に予定される北関東道の東北道までの開通に併せて、茨城・栃木両県の県民参加による開通イベントを開催し、更なる物流・人の交流の拡大に繋げるべきと考えるがどうか。

土木部長 陸・海・空の広域交通ネットワークの機能が格段に向上し、様々な分野において極めて大きな効果が期待されるため、栃木県と連携を図り、関係団体等の協力を得ながら、この画期的な機会にふさわしい開通イベントが開催できるよう、準備を進めていく。

議員 国家プロジェクトとして京都大学を中心に推進されている「i ps細胞プロジェクト」への県内からの参画状況と、本県の再生医療への対応を伺う。

企画部長 県内では、理化学研究所バイオリソースセンターが、研究拠点の一つとして参画している。

化などの問題が生じているが、県西地域の県立養護学校の適正規模化と適正配置をどのように進めていくのか。

教育長 学校ごとの適正規模を勘案しながら、校舎の増築や県立高等学校再編整備に伴い閉校となる高校校舎の活用、通学区域の見直しなど全県的な整備計画の検討を進め、本県の特別支援教育の一層の充実を図っていく。

(ほかに、陸・海・空の基盤整備完了後の茨城の将来展望、国道四号バイパスの整備促進なども質問)



北関東道(桜川筑西IC~笠間西IC)開通式テープカット



女性消防団の結成を促進

県としては、今後、積極的に情報収集等を行い、筑波大学をはじめとした関係研究機関との連携を一層推進し、再生医療に関する研究開発の促進を図っていきたい。

(ほかに、産業技術専門学院の改革、県北地域救急医療体制の整備なども質問)